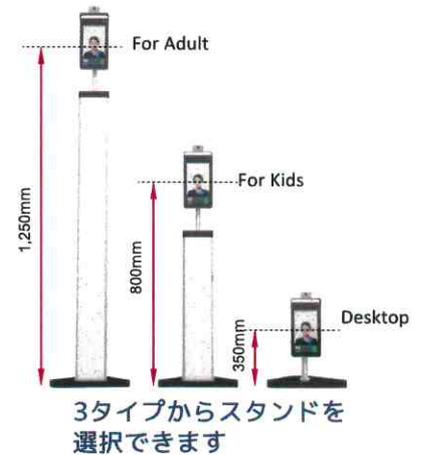


# 『AI顔認証検温モニター T-Stand』

～お客様・従業員の  
安全の為に～

T-Standは安全を第一に考慮した非接触型のスピード検温システムです。



自然界の温度が絶対零度 (-273.15℃) を超えるすべての物体は、人間の目には見えない一種の電磁波である「赤外線」を放射しています。本デバイスはターゲットの赤外線を受動的に吸収します。人体表面の赤外線熱放射を検出し、高品質なドイツ製センサーによる赤外線検出器で「光電変換」を行い、「AIアルゴリズム」により人体の体温を算出することができます

## 機能

### ● マスク装着識別

体温と合わせてマスクの着用も自動で判断します

### ● 検温

機器上部のセンサーが体温を自動測定、発熱リスクのある人を事前に検知します

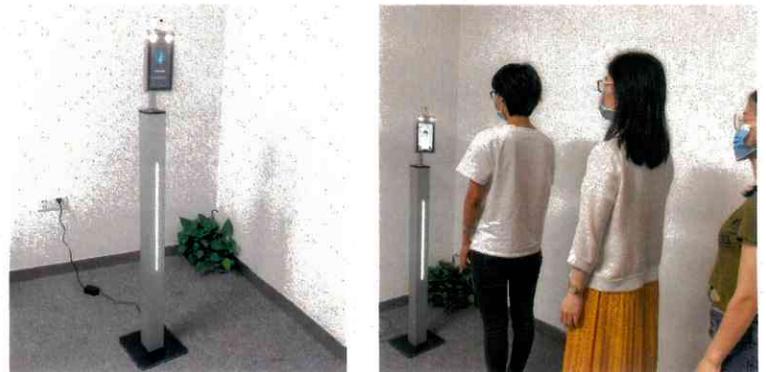
### ● スタンドアロン型

サーバー不要でカメラ端末1台から運用可能です

## 室内の感染リスクを軽減

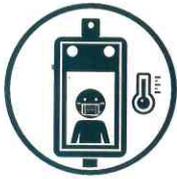
- ・ 従業員や利用者が安心して利用出来る環境作りを整えることで、感染リスクを事前に軽減できます。地域社会の安全を配慮した企業活動を行うことは、社会に公益を与えます。
- ・ スポーツジム・ヨガスタジオなどの共用施設では、受付時に利用者の検温をすることで、ストレスや不安を軽減し、安心して入店・ご利用いただけます。
- ・ オフィスでは、従業員の方が安心して就業できるよう、出勤時や休憩後の再入室時に検温します。また来訪者の方にも検温のセルフチェックにご協力いただけます。
- ・ 保育所や、小・中等等の教育機関では、インフルエンザなどの高熱風邪を検出しやすく、感染予防対策により保護者はお子さまを安心して登園・登校させられます。
- ・ その他、有人受付カウンター、無人受付、玄関。医療機関、区役所等公共機関の受付、美容院やカフェ・レストラン、スーパーなどの接客型店舗、ホテル・旅館等の宿泊施設、カンファレンスルーム、美術館、劇場、工場、パチンコ・ビリヤード場等の遊技場にも、幅広くご利用いただけます。

## オープン価格



# 『AI顔認証検温モニター T-Stand』

T-Standは安全を第一に考慮した非接触型のスピード検温システムです。



体温測定

±0.2℃の精度で体温を測定



音声アラーム

体温異常・マスク非着用を判定し、音声アラームでお知らせします



AI顔認証

AIにより顔を識別し検温を開始します

顔認証と赤外線温度検出に基づく、生体検知付きデュアルセンサーを使用した温度測定&顔認証パネル。この製品は、顔認証によって非接触温度検出とマスクが着用されているか否かの自動検出をします。

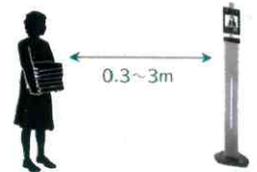
## 使用説明

①本製品の電源アダプターをコンセントに挿し込みます

②起動画面が立ち上がり、約1分程度で検知画面に切り替わり使用が可能になります。

※本体に電源スイッチはございません。非使用時は電源アダプターを外してください

●センサーにより0.3-3mの距離で顔認証を開始し、体温検知枠より離れている場合は、「近づいてください」と音声でアナウンスします



●横向きの際には検知枠が赤くなり、正面向きで顔認証をすると緑になります。検知後約1秒で測定結果を音声アナウンスします →「体温は正常です」

※37.5℃を判別ラインとして初期設定されております

※判別ラインを超えた体温を検知すると

→「体温が高いです」

比較結果アイコンが赤くなります



●マスク非装着時に音声アナウンスにより注意喚起します →「マスクをつけてください」

※測定できなかった場合は再度測定を音声アナウンスにより促します



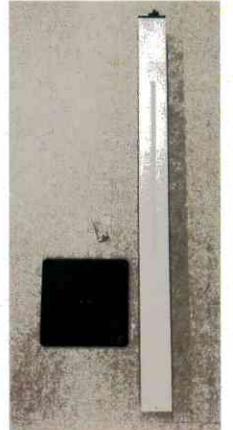
起動画面



- ・デバイス動作温度：10℃～40℃（デバイス\_最適動作温度：16～32℃）温度測定範囲：30-45℃・精度は±0.2℃
- ・通気口の下や3メートル以内に熱源がある場所に設置しないでください
- ・温度測定器が読み取る温度は、おでこ部分の温度です。髪や帽子などで覆われていないことを確認して使用ください
- ・おでこに水、汗、油、濃厚な化粧がある場合、お年寄りにシワがある場合、読み取り温度は実際の温度より低くなります

## 同梱物

- ・サーマルカメラ本体
- ・電源コード
- ・六角レンチ
- ・結束バンド
- ・専用スタンド  
本体/ベース/ナット/  
六角レンチ
- ・ACアダプター



## 取付手順

1 スタンド本体をナットで  
ベースに固定します



2 上部カバーの4辺のプラスビスを  
はずします



3 モニターのナットボムリングを  
一旦外し、土台のリングを最初に  
セット、次にゴムリング、土台の  
上部パーツをセットしてナットで  
締めます



4 電源、USB、LANを接続して  
柱上部のパーツをセット  
上部カバー4辺をプラスビスで  
固定します



5 AC電源接続で完成

